

平成 25 年度第 2 回団体連絡会議事次第

1. 日 時：平成 25 年 9 月 19 日（木）14：00～16：00

2. 場 所：（一社）日本建材・住宅設備産業協会 A・B 会議室

3. 議 題

(1) 挨拶

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 専務理事 富田育男…………… 14:00～14:15

(2) 講演

講演テーマ①「標準化戦略について」…………… 14:15～15:00

経済産業省 産業技術環境局 基準認証政策課 政策企画委員 黒田浩司 様

講演テーマ②「住宅リフォーム推進協議会の活動概況等について」…………… 15:00～15:45

一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会 事務局長 平林正好 様

(3) 団体会員からのご報告・案内…………… 15:45～16:00

①「キッチンスペシャリスト資格試験 受験ガイド」について

「リフォーム&インテリア 2013」開催について

「平成 25 年度キッチン空間アイデアコンテスト」について

公益社団法人 インテリア産業協会

②「第 2 回住宅部品点検の日 シンポジウム」について

一般財団法人 建材試験センター

③「環境共生住宅推奨部品のご案内」について

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会

(4) 建産協からの報告・他

平成 25 年度 団体連絡会の開催スケジュール

第 3 回 12 月 11 日（水）

第 4 回 3 月 20 日（木）

(配布資料)

団連 25-2-1 平成 25 年度第 2 回団体連絡会議事次第

団連 25-2-2-1 「標準化戦略について」

団連 25-2-2-2 「平成 26 年度産業技術環境局基準認証ユニット関連概算要求の概要」

団連 25-2-2-3 「平成 26 年度基準認証政策の重点と概算要求の概要」

経済産業省 産業技術環境局 基準認証政策課

団連 25-2-3 「住宅リフォーム推進協議会の活動概況等について」

一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会

団連 25-2-4 「26 年度概算要求のポイント（住宅関係）」

経済産業省 製造産業局 住宅産業窯業建材課

「環境共生住宅推奨部品のご案内」

「環境共生住宅推奨部品概要と推奨基準の考え方」

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会

(別冊)

- ・マンガでわかる「住宅リフォームガイドブック」
- ・「安心・快適住宅リフォームハンドブック」
- ・「住宅リフォーム工事 標準契約書式（小規模工事用）」

一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会

- ・「キッチンスペシャリスト資格試験 受験ガイド」
- ・「リフォーム&インテリア 2013」パンフレット
- ・「平成 25 年度キッチン空間アイデアコンテスト」パンフレット

公益社団法人 インテリア産業協会

- ・「第 2 回 『住宅部品点検の日』シンポジウム」パンフレット

一般社団法人 リビングアメニティ協会

- ・「PVC NEWS No.86」

塩化ビニル環境対策協議会

- ・「健康住宅アドバイザー試験」パンフレットほか（緑封筒一色）

NPO 法人 日本健康住宅協会

平成25年度第2回団体連絡会開催報告



平成 25 年 9 月 19 日(木)、平成 25 年度第 2 回団体連絡会が建産協会議室にて 37 団体及び標準化委員会委員等を含む 57 名の出席者のもと開催された。まず富田専務理事の主催者挨拶の後、経済産業省 産業技術環境局基準認証政策課 政策企画委員 黒田浩司氏より「標準化戦略について」と題する講演があり、続いて一般社団法人住宅リフォーム推進協議会 事務局長 平林正好氏より、「住宅リフォーム推進協議会の活動概況等について」というテーマでそれぞれ講演があった。最後に団体会員から事業案内があった。

講演 I：標準化戦略について



講師：経済産業省 産業技術環境局基準認証政策課 政策企画委員

黒田浩司氏

1. 知財と標準化の戦略
2. 国際標準化の重要性の高まり
3. 標準化と認証の一体的な取組の重要性
4. 最近の基準認証政策

知財と標準化の戦略については、「オープン・クローズ戦略」を知財との関係も含めて解説し、知財・標準の戦略 3 パターンを例示した。標準必須特許に関する問題としては、実例として欧米当局の見解を例示した。

1995 年の WTO/TBT 協定の発効、1996 年の WTO・政府調達協定の発効、さらに 2001 年に中国の WTO 加盟もあり、各国は広大な市場を獲得するための新たな戦略的ツールとして国際標準化を積極的に活用する傾向を示していることから、国際標準化の重要性を解説した。

日本の国際標準化への対応体制については、我が国の代表機関である日本工業標準調査会 (JISC) を中心に、国際標準化機構 (ISO) や国際電気標準会議 (IEC) への相関図を示した。

標準化と認証の一体的な取組の重要性については、スマートグリッドの例を挙げ、世界に通用する認証基盤を国内に整備する必要性を説いた。

最近の基準認証政策について、JIS の高機能化は、比較的高い基準を有する国内製品を、等級別に標準化を行い、海外製品に対して差別化を促すことが解説された。アジアとの連携強化では、スマートグリッドや省エネ製品などを国際標準化の先導とし、アジア各国との標準開発化を進め、各国の国家基準の採用に働きかけていくことが説明された。事例として、ベトナムとの標準化協力が挙げられた。

講演Ⅱ：住宅リフォーム推進協議会の活動概況等について



講師：一般社団法人住宅リフォーム推進協議会 事務局長 平林正好氏

1. 一般社団法人住宅リフォーム推進協議会の沿革と住宅リフォーム事業者倫理憲章について
2. 住宅の長寿命化リフォームとは
3. 平成 24 年度事業内容
4. 平成 24 年度住宅リフォーム実例調査
5. 住宅リフォーム潜在需要者の意識と行動に関する調査
6. 公共団体のリフォーム支援制度検索サイト
7. 平成 26 年度住宅リフォームに関する税制改正要望・予算要望

一般社団法人住宅リフォーム推進協議会は、平成 12 年 11 月の設立以来、良質かつ適切なリフォームの促進と関連業界の健全な発展を図ることを目的とした団体であり、消費者が安心してリフォームを行えるよう、標準契約書等の提供や啓発のための情報ツールの提供等の活動を行っている。

住宅の長寿命化リフォームとは、構造躯体の耐久性の向上や耐震・省エネ改修によって、長期に快適に住み続けることを可能にするためのもので、住宅の経年変化にあわせて適切なリフォームを行い、長期での住居費負担を軽減できるメリットが説明された。

住宅リフォームの実態を把握するための調査研究として、「住宅リフォーム実例調査」や、インターネットによる「住宅リフォーム潜在需要者の意識と行動に関する調査」の調査結果のポイントが解説された。

公共団体のリフォーム支援制度検索サイトについては、平成 25 年版がアップされ、サイト内での検索方法手順が例示された。

住宅リフォームに関する税制改正要望・予算要望については、今夏提出した内容を示し、前出の調査等を踏まえリフォーム促進に繋がる要望を提出したとの説明があった。

団体会員からの事業案内



一般社団法人環境共生住宅推進協議会 岡 靖明氏
「環境共生住宅推奨部品のご案内」について

建産協からの報告・他

- ・平成 25 年度団体連絡会の開催予定日
第 3 回 12 月 11 日 (水)
第 4 回 3 月 20 日 (木)